

【別紙】システム機能要求仕様書

医事システム機能

項番	機能分類	機能内容	対応可否
1	基本	医療機関向け基本マスタが提供され、新薬、材料の追加等を容易にメンテナンス可能であること。	
2	基本	医療機関向け基本マスタが提供され、点数・薬価・病名マスタはレセプト電算されていること。	
3	基本	労災、自賠責保険に関して法別番号を設定出来ること。	
4	基本	窓口画面で患者番号の継承が行えること。	
5	基本	患者の検索を各業務画面で行え、該当者の検索は一覧画面から選択可能なこと。	
6	基本	前回D oを容易に呼び出せること。	
7	基本	オーダリングシステム（電子カルテシステム）より、データを取り込めること。	
8	基本	業務を停止せずに、データのバックアップが可能であること。	
9	基本	会計データの保存期間は5年以上が可能であり、期間は任意設定可能なこと。	
10	基本	保存された会計データは、年数によらず同一の業務画面から参照可能なこと。	
11	基本	前回D oの内容が過去の内容であっても、現在の点数で点数計算が可能であること。	
12	基本	印刷データは紙での出力以外に、印刷イメージをデータで保存が出来ること。	
13	基本	業務開始時にパスワードの有無の設定が可能であること。	
14	基本	パスワードの有効期限が設定可能であること	
15	基本	システムの利用者IDにより患者登録、会計入力、病名登録、収納処理毎に実行を制限可能であること。	
16	基本	他業務へ画面切り替えが可能で、複数の業務の同時使用出来ること。	
17	基本	会計入力中であっても、リアルタイムにレセプトのイメージで内容確認が可能であり、また同時にチェック機能が働くこと。	
18	基本	当月のレセプト表示時に、過去分のレセプトが確認可能なこと。	
19	基本	自動加算が可能な加算、指導料、減減等を網羅していること。	
20	基本	包括項目の算定が正しく行われること。	
21	基本	院外処方の内容をレセプト用紙でも確認出来ること。	
22	基本	コメントが入力でき、レセプトに印刷出来ること。	
23	基本	1画面上で複数保険の会計が可能なこと。（特定の明細について保険の変更が可能なこと）	
24	基本	日報、月報、総括表はE X C E L、またはテキストデータの形式に出力可能なこと。	
25	基本	業務に関する連絡事項を、端末間でのメッセージのやり取りが可能であること。	
26	基本	日報集計に締め区分を設定（9区分）して運用出来ること。	
27	基本	業務中の停電について、再度電源投入した場合、入力中業務に復旧出来ること。	
28	基本	窓口業務で該当患者を呼び出した際に、事前に患者の登録した情報が表示されること。	
29	基本	ログインID毎の業務の実行履歴を保存、確認できること。	
30	患者登録	新規患者は自動で最終番号を付番出来、手入力も可能なこと。	
31	患者登録	保険・公費共に、各99種類までの登録が可能であること。保険+3種類の公費併用、または公費のみ3種類の公費併用等の保険パターンが登録可能であること。	
32	患者登録	保険証の有効期限・開始日を設定可能であること。	
33	患者登録	保険証確認履歴を参照し、当月未確認の場合はメッセージを表示すること。	
34	患者登録	有効期限切れの保険・公費を表示可能であること。	
35	患者登録	1患者1番号に対応出来、患者登録時には氏名、生年月日、性別で同性同名のチェックが可能なこと。	
36	患者登録	患者氏名は40文字程度入力可能なこと。	
37	患者登録	生年月日年号、性別は数字で入力出来ること。	
38	患者登録	入力した生年月日より、年齢および月齢が確認できること。	
39	患者登録	登録した主保険と従保険のパターン負担率・負担条件等を自動表示出来ること。	
40	患者登録	カルテ1号紙は複数の保険種別が登録されている場合、それ毎に出力可能なこと。	
41	患者登録	住所は郵便番号またはカナ住所で検索可能なこと。	
42	患者登録	旧姓等、変更前の氏名で患者検索が可能であること。	
43	患者登録	負担率の違う保険者番号の学習機能があり、メンテナンスも可能なこと。	
44	患者登録	患者番号の振り替えが可能なこと。	
45	患者登録	優先保険の設定が可能なこと	
46	患者登録	年齢により保険の妥当性チェックが可能なこと。	
47	患者登録	地域等の特定の固有情報を設定出来、入力が可能なこと（50個）。	
48	患者登録	患者へのコメント文字の入力が可能なこと。	
49	患者登録	患者情報単位にメモが50文字程度入力保存できること。	
50	患者登録	保険証や紹介状をイメージデータとして患者情報に関連付けて取り込むことが可能であること。また、患者登録の業務画面から直接スキャナーを操作して取り込みが可能なこと。	
51	受付業務	再来患者の受付が出来、保険証確認のチェックが可能なこと。	
52	受付業務	1回の受付で複数科分に対応可能なこと。	
53	受付業務	過去の受診科の照会が行え、それぞれの最終来院日の確認が可能なこと。	
54	受付業務	保険証の確認入力が行えること。	
55	受付業務	受付患者の一覧を表示し、それぞれの受付時間、受付科、受付区分の確認が可能なこと。	
56	受付業務	今後、自動再来受付機を導入した際に、再来受付が出来、受診票が発行出来ること。	

57	病名登録業務	病名の登録が可能（部位まで）で、レセプト電算されたマスタが標準提供されていること。	
58	病名登録業務	病名はカナ、漢字、ICD10による検索が可能であること。	
59	病名登録業務	病名のワープロ入力時に、前方一致により病名マスタより候補表示、選択が可能となる機能を有し、未コード化病名の削減が可能なこと。	
60	病名登録業務	レセプト電算コードが設定されている病名と、ワープロ入力された病名が判別できること	
61	病名登録業務	接頭語、接尾語の設定が可能で、病名との合成が可能であること。	
62	病名登録業務	病名管理は、転記（治ゆ、死亡、中止）、開始日付、終了日付が入力可能であること。	
63	病名登録業務	病名は特定病名の設定が可能で、画面で色により容易に把握出来ること。	
64	病名登録業務	感冒等の当月のみの病名を登録出来ること。	
65	病名登録業務	転記で終了した病名は保存期間を終了したら自動的に削除されること。	
66	病名登録業務	病名入力中でも、病名マスタの抜き取りや病名マスタの作成が可能であること。	
67	病名登録業務	病名の入力はワープロ機能によっても入力出来ること。ワープロ入力された病名については、コード化された病名と明確に見分けがつかう表現可能なこと。	
68	外来会計業務	診療内容と患者保険情報をもとに点数計算を行え、患者の請求全額を計算して請求書を印刷可能なこと。請求書は発行前に画面で確認が行え、訂正のある場合は入力画面に戻り、追加、修正、削除が行えること。	
69	外来会計業務	患者を選択し、オーダの取込みを行えること。（オーダリングシステム導入時）	
70	外来会計業務	自動算定の設定を行う事で、自動で1月上限回数まで自動算定出来る機能を有すること。	
71	外来会計業務	特定薬剤治療管理料は4ヶ月目以降の通減を薬剤単位で自動に行なえること。	
72	外来会計業務	会計入力は科、医師、部門を選択可能なこと。	
73	外来会計業務	深夜、休日、時間外、時間外特例医療機関加算の選択機能があり、自動算定されること。	
74	外来会計業務	入力中でも、病名登録や患者登録画面に容易に切替可能で、その切替えた画面での修正情報は入力中画面に反映されること。	
75	外来会計業務	会計入力画面に保険情報、病名、入院暦等の情報の表示がクライアント毎に任意設定可能なこと	
76	外来会計業務	指導状況、連絡事項の情報が会計入力前に確認が行えること。	
77	外来会計業務	入力はコード入力、及び検索による入力が可能なこと。	
78	外来会計業務	診療行為入力時に、日本語名称の前方一致により、点数マスタから候補表示、選択が可能であること	
79	外来会計業務	診療行為の検索にあたっては、読みや略称コードからの検索だけでなく、診療行為名称の文字列（漢字含む）や薬効の分類からも検索可能であること。	
80	外来会計業務	診療行為の入力中に、過去の会計データの内容を常時表示する機能を有すること。	
81	外来会計業務	約束入力、伝票入力、前回D o入力が行えること。	
82	外来会計業務	診療行為の入力中に、患者毎に設定された常用処方の内容を参照できること。また、常用処方の内容は、現在の診療行為の内容から簡易な操作で追加登録が可能であること。	
83	外来会計業務	1回の会計で、複数の科、複数の保険の入力が可能で会計は同時に行えること。	
84	外来会計業務	過去5年前までの会計内容を参照しながら、今回の会計入力を行えること。また、参照内容から容易にコピーし現在の診療点数で計算されること。	
85	外来会計業務	日付を指定し、D oが使用可能なこと。	
86	外来会計業務	セット入力時には内容を確認し、数量を入力可能であること。	
87	外来会計業務	会計入力中でも、点数マスタの抜き取りや点数マスタの作成が可能であること。	
88	外来会計業務	入力中の警告は即時に表示可能であること。	
89	外来会計業務	診療内容入力中、も即時に現在のレセプトを画面で確認出来、同時にエラーチェック機能が動作すること。	
90	外来会計業務	会計入力終了時に病名と薬品とのレセプト関連チェックを行える機能を有すること。	
91	外来会計業務	請求書は科別出力か、合計で出力するかを選択出来ること。	
92	外来会計業務	会計終了時に裏点を記入する為の請求点数確認画面が表示されること。	
93	外来会計業務	請求確認画面で入金金額をゼロにすると、未収金として計上出来ること。	
94	外来会計業務	自動加算、自動算定の機能を有すること。	
95	外来会計業務	画面上で自動算定された点数が識別出来ること。	
96	外来会計業務	画面上で院内処方、院外処方が識別出来ること。	
97	外来会計業務	包括行為の項目が入力されると、対象診療行為等は自動で包括されること。同時に包括された行為を強制的に非包括出来る機能を有すること。	
98	外来会計業務	画面上で包括された行為が識別出来ること。	
99	外来会計業務	同一検査の中で検査項目を重複に入力しても、自動で1つに編集されること。	
100	外来会計業務	会計で一旦検査を入力した後に検査項目を追加入力した場合、検査の自動算定（丸め計算、剤区切り）を再実行する機能を有すること	
101	外来会計業務	C Tなどは2回目以降に自動で通減されること。	
102	外来会計業務	カレンダー形式で来院日が確認出来ること。	
103	外来会計業務	前回までの未収金額を含めて今回の請求金額に合算して請求書を作成可能であること。	

104	外来会計業務	外来請求書を自動発行出来ること。かつ、請求書を発行せず請求データのみの保存も出来る選択機能を有すること。	
105	外来会計業務	点数マスタの検索画面にて、使用期限日を過ぎたマスタの文字色を変更することが可能であること	
106	外来会計業務	電子点数表を活用した背反チェック、算定回数の縦覧チェックが可能であること。	
107	会計カード検索業務	会計カードは月、診療区分を指定し表示できること。	
108	会計カード検索業務	追加、修正、削除した内容から差額の計算が可能であり、再度請求書を作成出来ること。	
109	会計カード検索業務	診療行為をカレンダー表示出来、カレンダー画面から回数の変更及び診療行為の複写が出来ること。	
110	会計カード検索業務	会計カードを印刷出来ること。	
111	収納処理業務	患者毎及び全体の入金・未収金の管理が可能であること。	
112	収納処理業務	請求書を作成出来る機能を有すること。	
113	収納処理業務	請求書の印刷枚数は予め設定可能であること	
114	収納処理業務	請求期間を指定する事により合算請求書を作成出来ること。	
115	収納処理業務	請求日付と入金日付を別に管理出来ること。	
116	収納処理業務	将来のシステム拡張のため、現金管理に優れたPOSレジとの連携機能を有すること。	
117	収納処理業務	請求書の再発行が出来ること。	
118	日報業務	保険別、科別に日計表を作成可能なこと。	
119	日報業務	患者別日計表を印刷可能なこと。	
120	日報業務	未収金日報を印刷可能なこと。	
121	日報業務	収納データ保存期間ならば日付を指定して日報を印刷可能なこと。	
122	日報業務	指定した日付の収益を科別に表示可能なこと。	
123	日報業務	日報で出力されるデータがEXCEL、またはテキストデータで出力可能であること。	
124	レセプト業務	診療報酬明細書（レセプト）の作成が可能であること。	
125	レセプト業務	レセプトは社保、国保等それぞれ指定された様式に対応されていること。	
126	レセプト業務	レセプトの印刷は前処理を行わなくても、即座に印刷が可能であること。	
127	レセプト業務	レセプトの印刷は月中でも印刷が可能であること。	
128	レセプト業務	一般、労災、自賠責保険に対応されていること。	
129	レセプト業務	レセプト印刷の指示、用紙番号、科、患者番号、の印刷順指定が可能なこと。	
130	レセプト業務	レセプトの件数が判断可能な、レセプト一覧表の作成が可能であり、患者別にも出力可能で、レセプトが出力された後に会計が修正されたかどうかの判断が出来る印がつくこと。	
131	レセプト業務	レセプトの点検用に院外処方した投薬情報も印刷可能であること。	
132	レセプト業務	提出不要なレセプトの保留が行えること。保留解除も可能なこと。	
133	レセプト業務	傷病名との適用チェックや、1日、1月あたりの回数、数量チェック、当月にペアで算定されるべき診療行為のチェックが可能なこと。	
134	レセプト業務	リハビリの実施日数を自動的に印刷出来ること。	
135	レセプト業務	手術、処置などはコメントを入力しなくとも診療日を印刷出来ること。	
136	レセプト業務	診療行為と病名の関係についてメーカー提供のDBによるチェックが可能であること	
137	レセプト業務	DBによるチェックは、会計時と月単位の一括処理に対応していること	
138	レセプト業務	日々の入力においてレセプト電算提出データの自動作成が可能であり、月末月初の提出データ作成処理を必要としないこと	
139	レセプト業務	レセプト電算提出データを自動作成した場合のエラー内容を管理する画面を有すること	
140	レセプト業務	レセプト電算ファイル作成で未編集及び修正を加えたレセプトのみを編集する機能を有すること。	
141	レセプト業務	審査支払機関側での受付チェックと同等のチェックを行う機能を有すること。	
142	レセプト業務	症状詳細登録において、「治験に係る治験概要」「疾患別リハビリテーションにかかわる治療継続の理由等」の登録が行えること。	
143	レセプト業務	レセプト電算ファイル作成時に、患者病名に「未コード化傷病名」が記録された割合を画面表示できること	
144	レセプト業務	提出用のレセプト電算媒体からレセプト印刷が可能であること。	
145	レセプト業務	レセプトオンライン請求時、返戻データの取り込みが可能であること。また、返戻理由等の詳細を医事システム上で確認できること。	
146	レセプト業務	返戻レセプト分のみのレセプト電算ファイルの編集が可能であること。	
147	レセプト業務	レセプトオンライン請求システムの「送信データ集計表」に準拠した帳票を印刷可能なこと。	
148	レセプト業務	5者併用のレセプト電算請求ができること。	
149	総括表業務	レセプト印刷のデータをもとに指定様式で、診療報酬請求書（総括表）が印刷可能なこと。	
150	総括表業務	患者別の診療報酬点数が確認修正が可能なこと。	
151	総括表業務	返戻・保留などの管理が出来ること。	
152	総括表業務	総括表で出力されるデータがEXCEL、またはテキストデータで出力可能であること。	
153	予約	予約枠毎に予約の可否を設定できること。	
154	予約	過去の予約データを表示できること	

155	予約	予約票の印刷が可能なこと。	
156	予約	予約患者一覧表示が可能なこと。	
157	予約	予約患者の場合、受付時に予約時間が表示されること。	
158	患者管理業務	氏名カルテ情報、保険情報、来院情報、入院情報、病名情報、薬剤・行為情報などにより対象患者の検索及び、患者台帳の作成が出来ること。	
159	患者管理業務	行為・薬剤情報については回数、数量の範囲を指定可能であること。	
160	患者管理業務	患者台帳の印刷項目を選択可能であること。	
161	帳票作成	退院証明書、紹介状、診断書、主治医意見書をシステムに蓄積されたデータからWordやEXCELに作成できること。	
162	マスタ管理業務	薬価改正毎に世代別に点数マスタ、セットマスタ、システムマスタを管理可能なこと。	
163	マスタ管理業務	点数マスタ、病名マスタの印刷が可能であること。	
164	マスタ管理業務	セットマスタの登録が行えること。セットの複写機能も備えていること。	
165	マスタ管理業務	伝票マスタの登録が行えること。	
166	マスタ管理業務	レセプト電算に対応する標準提供点数マスタ、標準提供病名マスタを有すること。	
167	マスタ管理業務	標準提供マスタより容易に抜き取りが可能であること。	
168	マスタ管理業務	包括行為に含まれる設定が可能であること。	
169	バックアップ業務	バックアップ処理は診療行為入力中でも行えること。	
170	バックアップ業務	バックアップ対象データを選択可能なこと。	
171	バックアップ業務	月別に会計データをバックアップ可能なこと。	
172	バックアップ業務	月次、日次ごとに退避する内容を設定でき、日々の退避時間を短縮することが可能なこと。	
173	バックアップ業務	データを復元出来る機能を有すること。	
174	改定	ネットワークを使用して、改定プログラムやマスタをダウンロードし、適用することが可能である。	
175	オンライン資格確認	保険証によるオンライン資格確認を行った患者の保険情報を取り込めること。	
176	オンライン資格確認	マイナンバーカードによるオンライン資格確認を行った患者の保険情報を取り込めること。	
177	オンライン資格確認	マイナンバーカードによるオンライン資格確認を行った患者の特定健診情報および薬剤情報を参照できること。	

電子カルテ機能

項番	機能分類	機能内容	備考
1	セキュリティ	利用者ID、パスワードによる個人認証が可能なこと。	
2	セキュリティ	利用者ごとに、カルテデータへのアクセス権限を更新、参照設定が可能なこと。	
3	セキュリティ	カルテデータへアクセスしたログを記録可能なこと。	
4	セキュリティ	印刷物を出力したログを記録可能なこと。	
5	患者基本情報	患者番号、氏名、年齢、生年月日、性別、既往歴、アレルギー、顔写真の表示が可能なこと。	
6	患者基本情報	他医療機関での入院履歴の登録が可能なこと。	
7	患者基本情報	紹介状や診断書の発行と履歴管理が可能なこと。	
8	患者基本情報	前回来院日、初診算定日が表示可能なこと。	
9	患者基本情報	他医療機関への紹介情報、他医療機関からの紹介情報の管理が可能なこと。	
10	患者基本情報	電話番号等で患者の家族を検索、関連付けが可能なこと。	
11	患者基本情報	家族情報から自動的に血縁図が作成可能なこと。	
12	患者基本情報	家族の病名、来院歴およびカルテの内容を参照可能なこと。	
13	患者基本情報	血圧、体温等の医療機関独自の経過項目が登録可能なこと。	
14	患者基本情報	問題点（プロブレム）の登録／表示が可能なこと。	
15	患者基本情報	カルテに記載する病名を入力することが可能なこと（略称指定、ワープロ入力）。	
16	患者基本情報	病名マスタの検索が可能なこと（読み／名称／ICD10）。	
17	患者基本情報	頻繁に使用する病名を予め登録することが可能であること。	
18	患者基本情報	「症状経過」欄への転記が可能なこと。	
19	患者基本情報	処方・検査・処置などのデータから適応病名を表示し、そこから病名入力が可能なこと。	
20	患者基本情報	病名検索や病歴一覧で病名マスタのレセプト電算コードの設定状況が確認可能なこと。	
21	患者基本情報	病名をワープロ入力する過程で、病名マスタと部分一致した場合、その病名候補を表示し、選択入力が可能なこと。	
22	カルテ作成	窓口で受付をした患者の一覧表示が可能なこと。	
23	カルテ作成	患者番号入力により患者を選択することが可能なこと。	
24	カルテ作成	氏名フリガナ、生年月日、性別により患者を検索して一覧表示することが可能なこと。	
25	カルテ作成	「一時保存」状態にある患者の一覧表示が可能こと。	
26	カルテ作成	担当医師、診療科の条件を指定して一覧表示が可能なこと。	
27	カルテ作成	診療歴（受診歴）の一覧表示が可能なこと。	
28	カルテ作成	一覧から選択した過去カルテ、検査結果が表示可能なこと。	
29	カルテ作成	カルテに貼付したマーカー（付箋）の一覧表示が可能なこと。	
30	カルテ作成	一覧から選択したマーカー（付箋）のカルテ表示が可能なこと。	
31	カルテ作成	カルテに各種ファイル（WORD文書等）をリンク可能なこと。	
32	カルテ作成	添付ファイルに対応されたアプリケーションで表示可能なこと。	

33	カルテ作成	語句や文章を登録してユーザ専用の辞書が作成可能なこと。	
34	カルテ作成	コンボボックス、リストボックス、チェックボックス等による選択方式の入力支援ツールを有していること。	
35	カルテ作成	入力項目、画面レイアウト等はカスタマイズが可能なこと。	
36	カルテ作成	専用編集ツールによる患部、所見コメントの簡易入力およびフリーペイントが可能なこと。	
37	カルテ作成	患部を表現するスタンプの登録が可能なこと。	
38	カルテ作成	診療行為をグループ化したセット形式での入力が可能なこと。	
39	カルテ作成	セットマスタはカルテ入力中に登録/変更が可能なこと。	
40	カルテ作成	略称コード指定による診療行為の入力およびワープロコメント入力が可能なこと。	
41	カルテ作成	入力する点数マスタの検索が可能なこと（カナ/名称/薬効）。	
42	カルテ作成	後発医薬品の検索が可能なこと。	
43	カルテ作成	医薬品の取り違え事故を防止する為に、検索に必要な最低文字数設定が可能なこと。	
44	カルテ作成	前回の診療内容全て、または処方等のみのコピーが可能なこと。	
45	カルテ作成	特定の剤または明細を選択してのドラッグ&ドロップによるコピーが可能なこと。	
46	カルテ作成	次回診療内容を予め登録し、診察時にカルテへの展開が可能なこと。	
47	カルテ作成	入力中の患者を終了せずに、他の患者カルテのマルチジョブ機能が対応可能なこと。	
48	カルテ作成	極量、投薬日数等の投薬基本チェックが可能なこと。	
49	カルテ作成	患者の年齢等（小児/妊婦等）に合わせた警告メッセージの表示が可能なこと。	
50	カルテ作成	薬の相互作用、配合禁忌、適応病名、禁忌病名のチェックが可能なこと。	
51	カルテ作成	食物アレルギー、薬物アレルギーとのチェックが可能なこと。	
52	カルテ作成	「処置/処方」欄に入力されたデータの算定点数が表示可能なこと。	
53	カルテ作成	カルテ2号紙に参照画像を貼り付け可能なこと（BMP/JPEG）。	
54	カルテ作成	検査結果参照画面で選択した検査結果をカルテへ貼り付け可能なこと。	
55	カルテ作成	患者サマリの作成が可能なこと。	
56	カルテ作成	患者情報や「症状/経過」欄の情報取得が可能なこと。	
57	カルテ作成	オーダー情報をカレンダー形式で参照可能なこと。	
58	カルテ作成	カルテ2号紙の印刷が可能なこと。	
59	カルテ作成	院内/院外処方箋を発行可能なこと。	
60	カルテ作成	指示せんを発行可能なこと。	
61	カルテ作成	書状はWordやEXCELを利用した文書作成が使用可能なこと。	
62	カルテ作成	書状作成時に患者情報、保険情報、病名並びに紹介先情報を取込み可能なこと。	
63	カルテ作成	書状新規作成時に処置・処方欄の明細の自動転記が可能なこと。	
64	カルテ作成	雛型文書は利用者独自に登録可能なこと。	
65	カルテ作成	カルテの内容をコピー&ペーストで参照入力可能なこと。	
66	カルテ作成	発行済みの書状をプレビュー表示可能なこと。	
67	カルテ作成	記載したカルテの仮保存を行う際に使用する、保存モードを有すること。	
68	カルテ作成	上記とは別に、修正履歴が版数管理される確定保存のモードを有すること。	
69	カルテ作成	入力済のカルテから条件（患者基本情報/病名/ICD10分類/任意の文字列等）に該当する患者またはカルテが検索可能なこと。	
70	カルテ全検	検索された患者のみを対象として、新たな条件での検索が可能なこと（絞り込み検索）。	
71	カルテ作成	画像ファイル（BMP/JPEG）から参照画像を取込み可能なこと。	
72	カルテ作成	スキャナ、デジタルカメラから参照画像を直接取込み可能なこと。	
73	カルテ作成	取り込んだ参照画像を専用編集ツールで編集可能なこと（コメント入力等）。	
74	カルテ作成	作成したオーダに対する、算定可能な指導料を表示できること。	
75	カルテ作成	同一患者に対して、同時に診療記録が作成可能なこと。	
76	カルテ作成	患者の体重に合わせた処方薬の成分量を換算して表示可能なこと。	
77	カルテ作成	検査結果参照が可能なこと。	
78	カルテ作成	検査結果の時系列表示が可能なこと。	
79	カルテ作成	利用者が指定した検査項目のグラフ表示が可能なこと。	
80	カルテ作成	電子データによる検査依頼、結果の受信が可能なこと（※MEDISフォーマットに準拠）	
81	カルテ作成	再診予約の予約枠管理が可能なこと。	
82	カルテ作成	患者選択画面で再診予約患者の確認が可能なこと。	
83	カルテ作成	患者単位や日付単位で予約状況の確認が可能なこと。	
84	カルテ作成	小児の身長、体重、頭囲の値を元に成長曲線の表示が可能なこと。	
85	カルテ作成	患者のカルテ情報を、往診先や自宅等、医療機関外でカルテ参照/入力が可能なこと。	
86	カルテ作成	検査結果グラフと指示歴を同一画面上に並列表示可能なこと。	
87	カルテ作成	指示歴画面より、予定情報を入力可能なこと。	
88	カルテ作成	患者一覧より、予定を一括でカルテに展開可能なこと。	
89	カルテ作成	入力した処方を、一般名に変換できること。	
90	カルテ作成	以前入力した剤情報から簡単にオーダを作成できること。	
91	カルテ作成	入力した処方の薬品情報を参照できること。	
92	画像連携	カルテ作成画面から対象患者の画像システムのビューワーが表示できること。	
93	検体検査連携	姫野々診療所に設置の検体検査システムと連携し、検査結果を連携させること。	
94	他	院内職員間の連絡用として使用する簡易メール機能を有していること。	
95	他	診察時の備忘録、他の医師への伝言等を患者ごと登録し、次回診察時に表示可能なこと。	